

## クライアントPCへの設定方法

### [クライアントPCへの設定]

1. PacketiX VPNのダウンロードセンターからPacketiX VPN Client<最新ビルド>をダウンロードしクライアントPCにインストールします。

#### ▼ダウンロード

[PacketiX VPN のダウンロード \(packetix-download.com\)](https://packetix-download.com)

- ①プルダウンメニューから各項目を選択します。

#### ・初期画面



#### ・項目設定 ※プラットフォームはWindowsとしています。



② <最新ビルド>を選択して下さい。ダブルクリックでダウンロードを開始します。

## ダウンロード可能なファイル (52 個)

Beta 版ビルドは開発中の機能が含まれており、不安定な場合があります。企業環境で利用される際には、RTM 版ビルドを使用されることをお勧めします。

重要業務で VPN Server を使用されている場合は、アップデートのインストールは業務時間外などに実施をしていただき、アップデート後に万一不具合が発生した場合には前回使用されていたバージョンに直ちにロールバックしていただくことが可能な状態でアップデート作業を実施いただきますようお願いいたします。

- ▶ ご注意: 以下の VPN ソフトウェアはその性質上、VPN 通信を行うために OS のネットワーク機能を利用します。  
アンチウイルスソフトウェアやファイアウォールなどで警告が表示される場合がありますが、異常ではありません。  
万一、アンチウイルスソフトウェアなどが動作を妨げる場合は、VPN のインストーラやプログラムファイルを除外リストに登録してご利用ください。

### PacketiX VPN Client (Ver 4.38, Build 9760, rtm)

vpnclient-v4.38-9760-rtm-2021.08.17-windows-x86\_x64-intel.exe (50.78 MB)

リリース日: 2021-08-17 <最新ビルド>

バージョン更新履歴 (ChangeLog)

言語: English, Japanese, Simplified Chinese

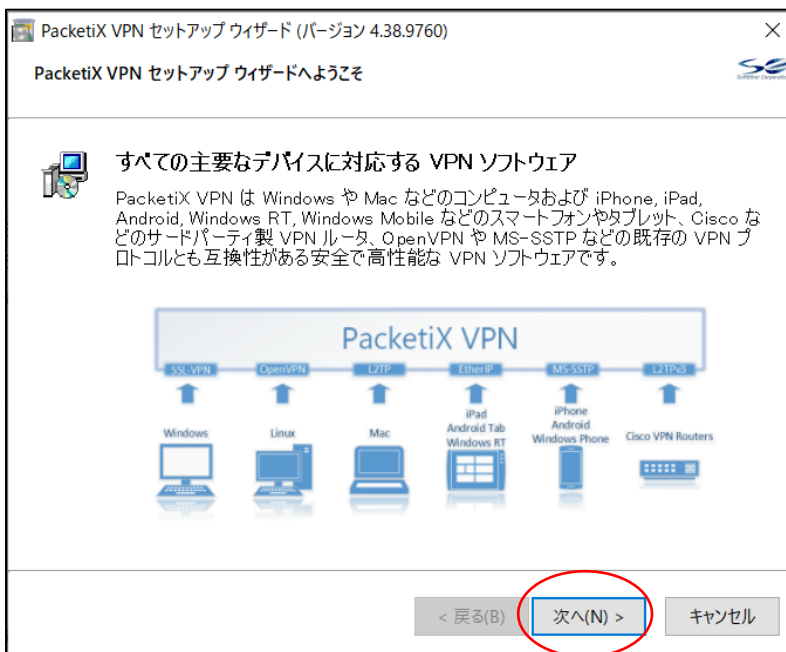
OS: Windows, CPU: Intel (x86 and x64)

(Windows 98 / 98 SE / ME / NT 4.0 SP6a / 2000 SP4 / XP SP2, SP3 / Vista SP1, SP2 / 7 SP1 / 8 / 8.1 / 10 / Server 2003 SP2 / Server 2008 SP1, SP2 / Hyper-V Server 2008 / Server 2008 R2 SP1 / Hyper-V Server 2008 R2 / Server 2012 / Hyper-V Server 2012 / Server 2012 R2 / Hyper-V Server 2012 R2 / Server 2016 / Server 2019)

③ダウンロードされたファイルを確認し、ダブルクリックでインストールを開始します。



・「次へ」をクリックします。



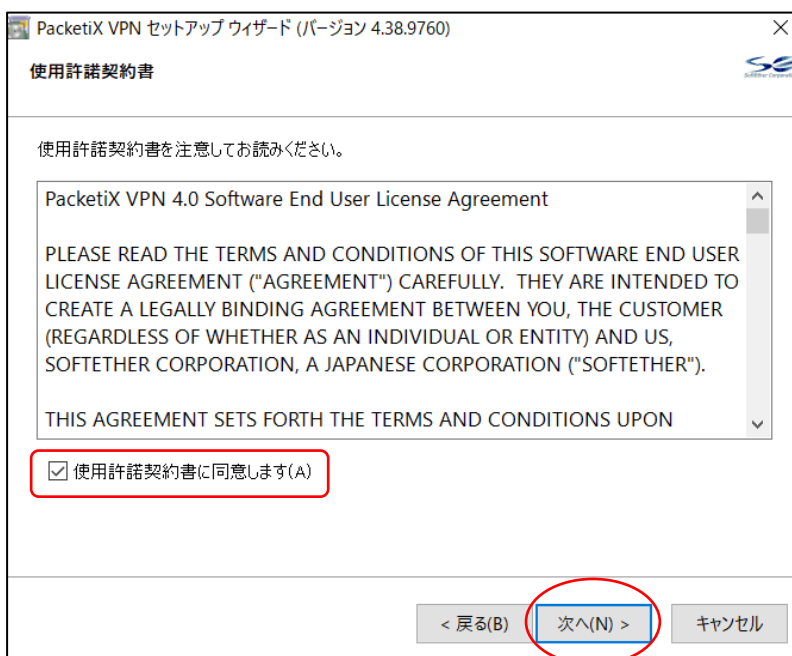
- ・メッセージに対して「はい」をクリックします。



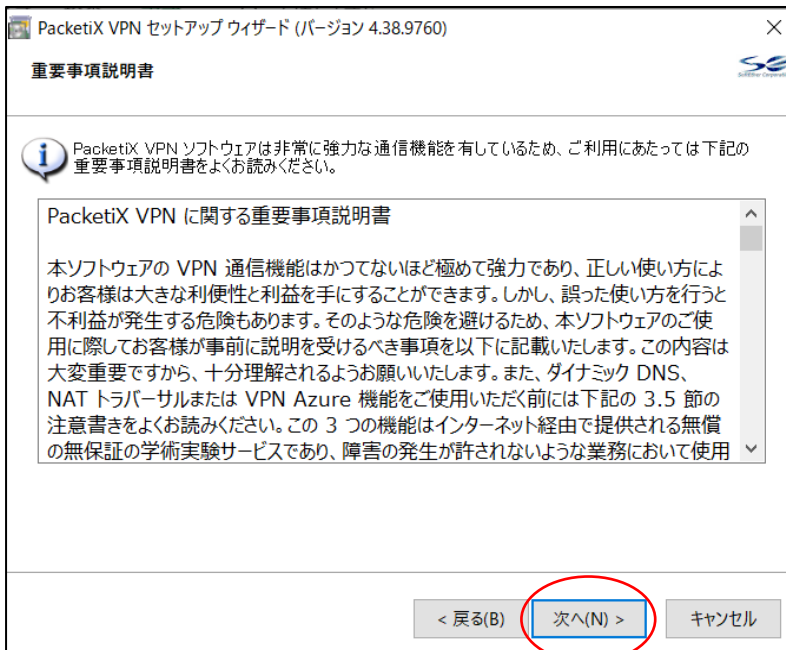
- ・「PacketiX VPN Client」を選択して「次へ」をクリックします。



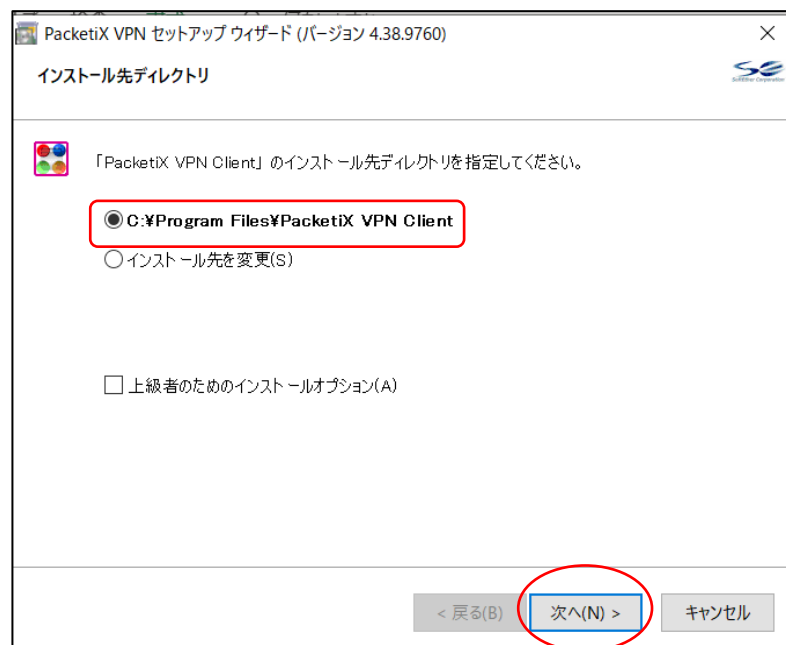
- ・使用許諾契約書に同意する場合 ☒ を入れて「次へ」をクリックします。



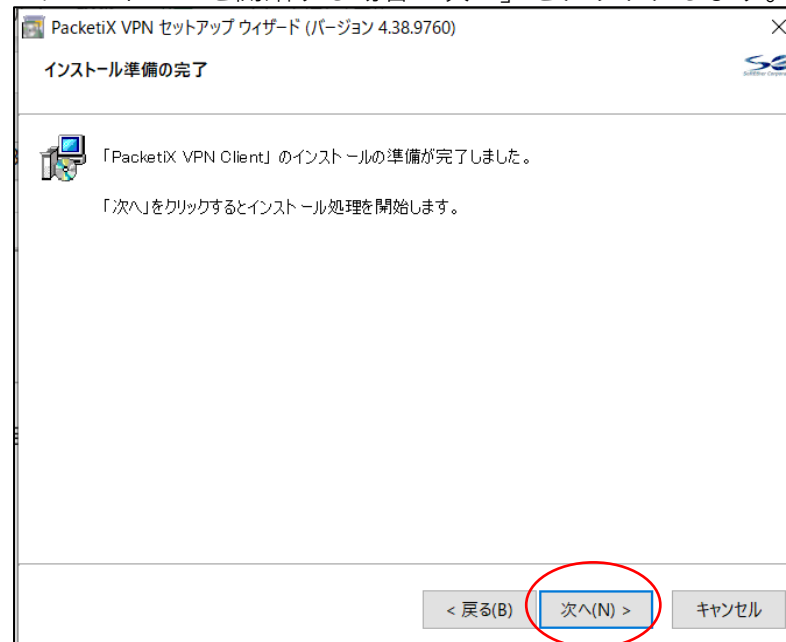
- ・重要事項説明書を確認し「次へ」をクリックします。



- ・デフォルトのまま「次へ」をクリックします。

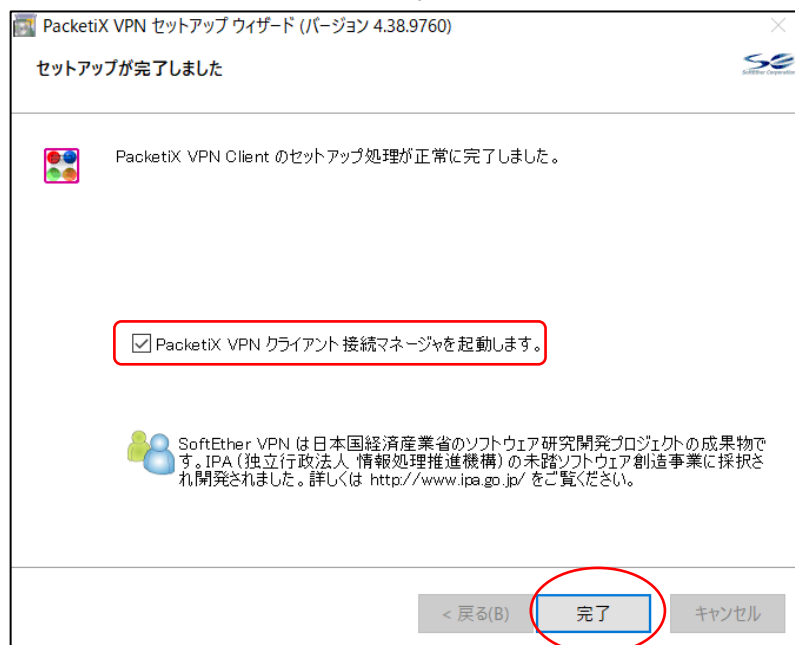


- ・インストールを開始する場合「次へ」をクリックします。

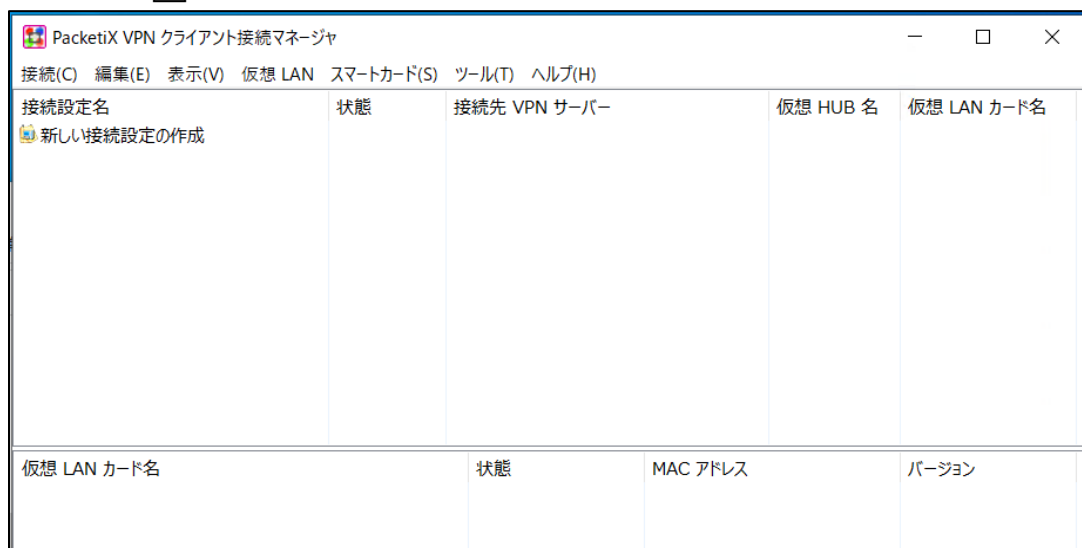


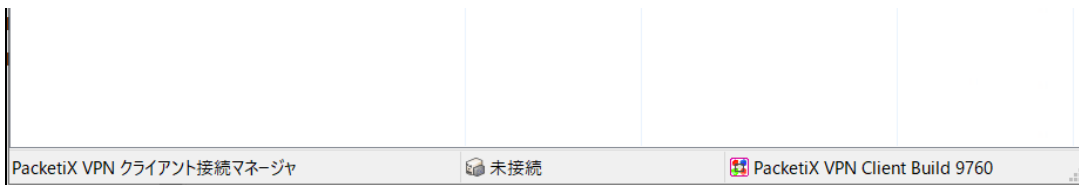


- ・インストールが完了しました。

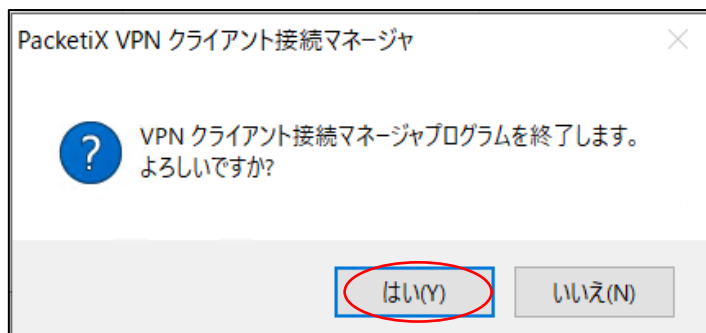


- ・「PacketiX VPN クライアント接続マネージャを起動します。」に☑を入れて「完了」をクリックした場合、「PacketiX VPN クライアント接続マネージャ」が起動します。☑をしなくても問題ありません。





- ・「PacketiX VPN クライアント接続マネージャ」を終了します。  
「接続」タブを右クリックし、「接続マネージャプログラムの終了」を選択します。



2. インストール終了後、デスクトップにアイコンが作成されます。

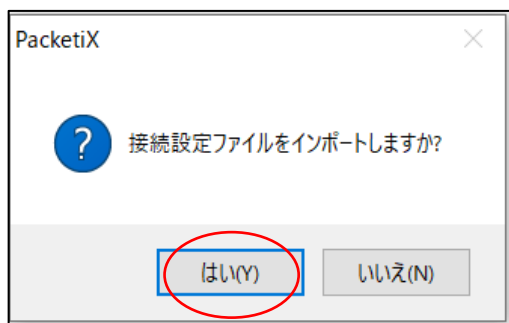


3. 配布した設定ファイル（拡張子.vpn）をダブルクリックし起動します。  
ダブルクリックを行うと自動的に設定ファイルがPacketiX VPN Client にインポートされます。  
以下、サンプル：「raspi32.vpn」を使用します。

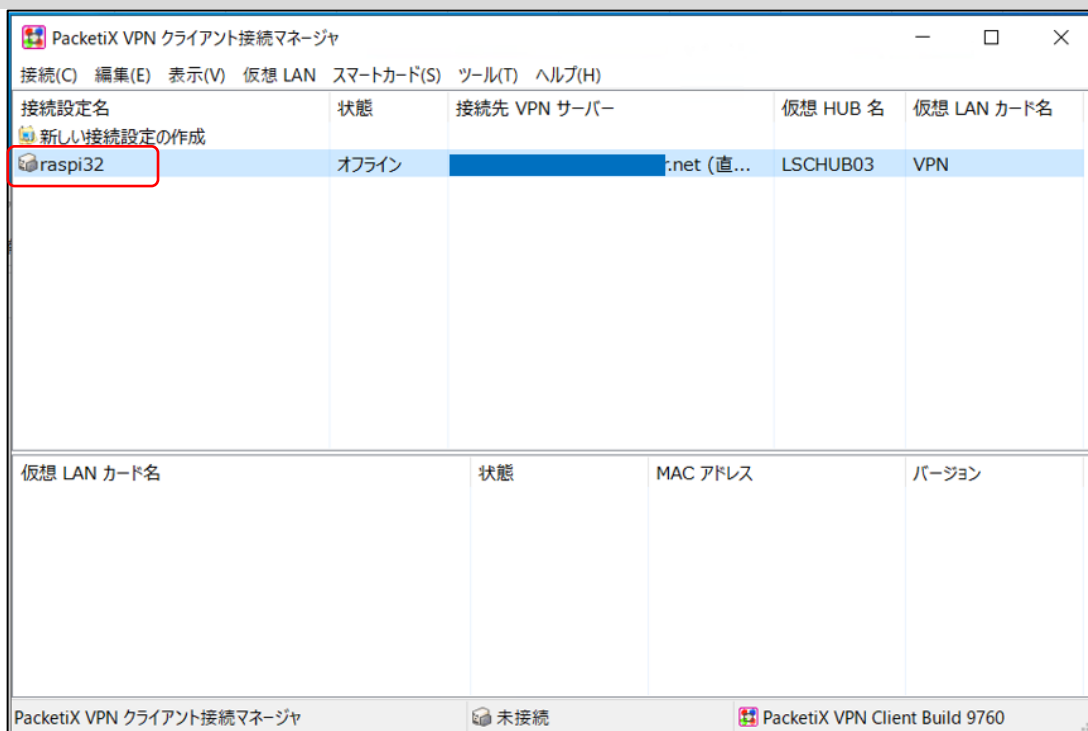
- ①メール送信した設定ファイル「raspi32.vpn」を各クライアントPCのフォルダーに配置します。



- ② 「raspi32.vpn」をダブルクリックします。  
メッセージに対して「はい」をクリックします。

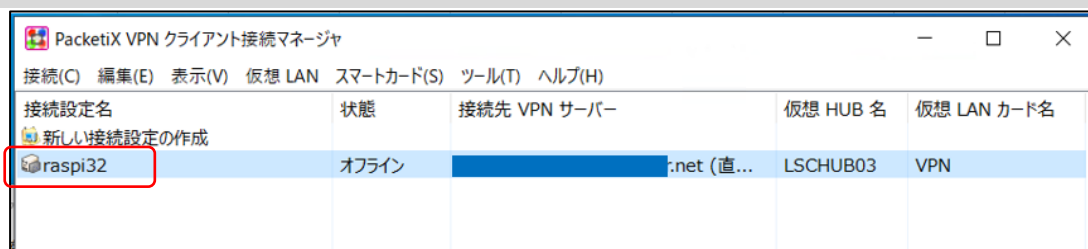


- ③ 「PacketiX VPN クライアント接続マネージャ」が立ち上がります。  
接続設定名：raspi32を確認します。




#### 4. 仮想のLANカードを作成します。

- ① 接続設定名：raspi32をダブルクリックします。





仮想 LAN カード名	状態	MAC アドレス	バージョン
<div>PacketiX VPN クライアント接続マネージャ</div> <div>未接続</div> <div>PacketiX VPN Client Build 9760</div>			



新しい VPN 用仮想 LAN カードを作成し、Windows に追加しています。

この処理には数秒から数十秒かかる場合があります。  
しばらくお待ちください...

(仮想 LAN カードの作成中は他の操作はしないでください。)

②メッセージに対して内容を確認し「OK」をクリックします。

VPN サーバー " [redacted] .net" (仮想 HUB: "LSCHUB0...)

\*\* NAT Traversal 接続 - 安定性低下の可能性があります \*\*

VPN Client は VPN Server 'raspi32' に NAT トラバーサル (UDP ホールパンチング) モードで接続しました。

NAT トラバーサルによって、VPN Client は NAT やファイアウォールの背後にある VPN Server に、それらの NAT やファイアウォールでのポートフォワードリングの設定を行うことなく接続することができます。

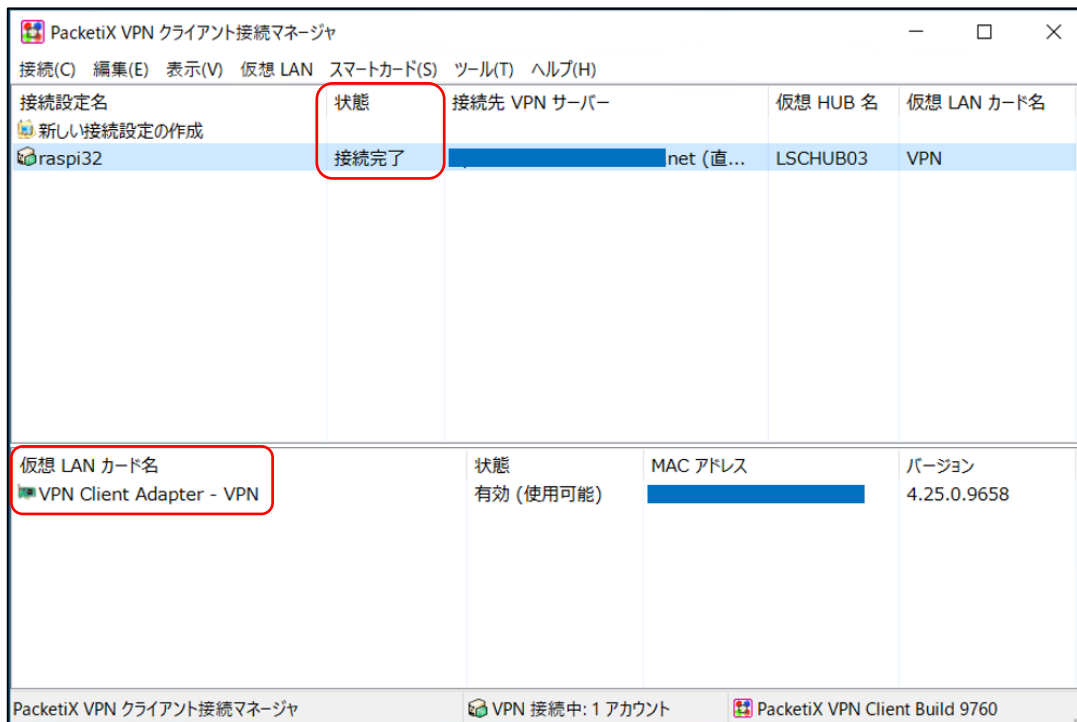
しかし、NAT トラバーサルは UDP をベースとした通信を使用するため、VPN セッションが不安定になる原因となる場合があります。たとえば、安価な NAT ルータが VPN Server と VPN Client との間に存在する場合、NAT トラバーサル上の VPN トンネルは 5 分ごとに切断される場合があります。また、安価な ISP が大規模な NAT を使用している場合にも NAT ト

☐ 今後はこのメッセージを表示しない(D)

OK

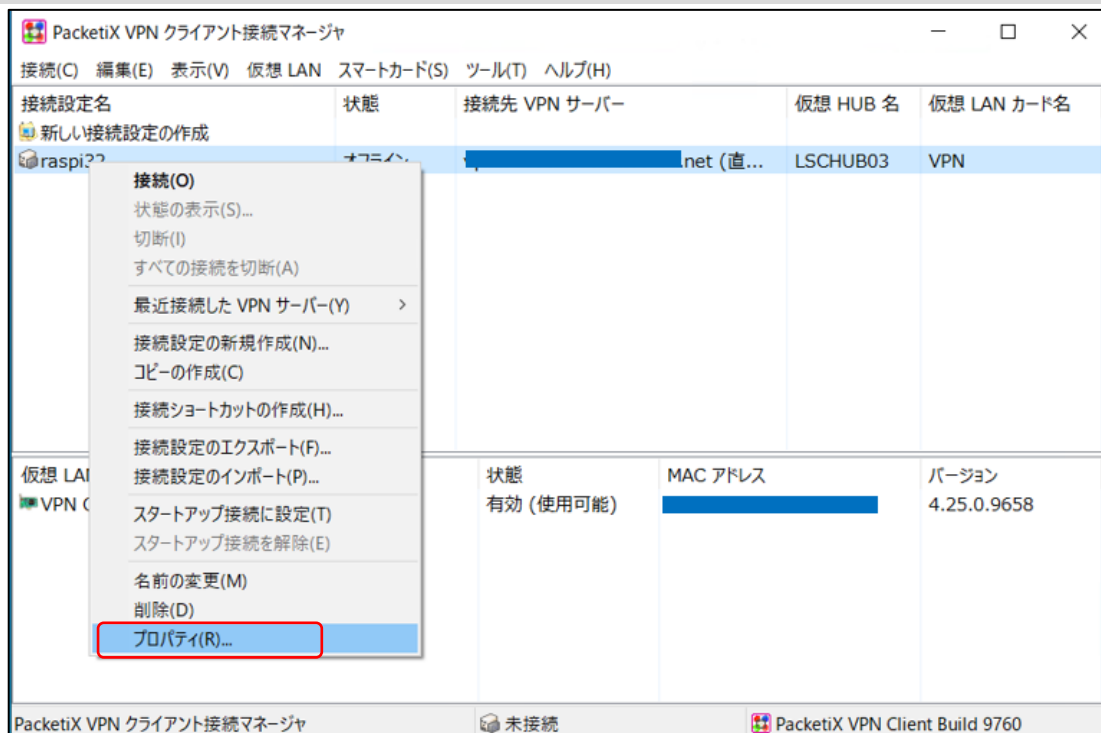
- 「PacketiX VPN クライアント接続マネージャ」を確認します。  
状態の、「接続完了」と仮想LANカード名「VPN」の確認を行います



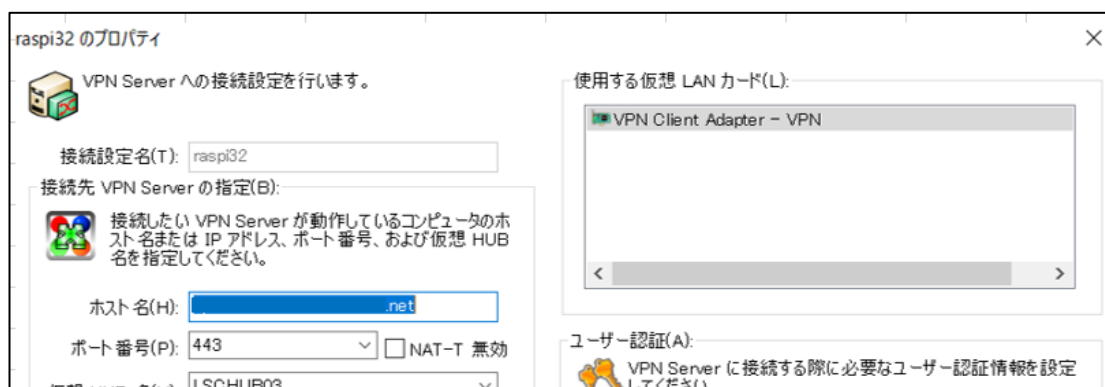


6. 設定の内容を確認する場合は、プロパティで内容を表示します。

①接続設定名：raspi32を右クリックし、プロパティを選択します。



②設定状況を確認することができます。



仮想 HUB 名(V):

経由するプロキシサーバーの設定(X):

プロキシサーバーを経由して VPN Server に接続することができます

IE の設定を使用(E)

プロキシの種類(M): ☒ 直接 TOP/IP 接続 (プロキシを使わない) ☐ HTTP プロキシサーバー経由接続(Q) ☐ SOCKS プロキシサーバー経由接続(S)

プロキシサーバーの接続設定(Z)

サーバー証明書の検証オプション(F):

☐ サーバー証明書を必ず検証する(3)

信頼する証明機関の証明書の管理(4)

固有証明書の登録(R) 固有証明書の表示(5)

認証の種類(6): クライアント証明書認証

ユーザー名(U):

発行先: 発行者: 有効期限: 2031 年 8 月 25 日(月)

クライアント証明書の表示(7) クライアント証明書の削除(8)

通信の詳細設定(G):

☒ VPN Server との通信が切断された場合は再接続する(Z)

再接続回数(C): 再接続間隔(K): 15 秒

☒ 無限に再接続を試行する (常時接続) (I)

☐ SSL 3.0 を使用する(1) 高度な通信設定(N)...

☐ 接続中の画面とエラー画面を非表示(W) ☐ IP アドレスメッセージを非表示(9)

OK キャンセル

## 8. 勤務先PCとの接続を確認してください。

リモートデスクトップ接続やネットワークで勤務先にあるPCを選択して接続できることを確認してください。

## 9. 「PacketiX VPN クライアント接続マネージャ」を切断して終了します。

### ①接続名の欄で右クリックし、「切断」を選択します。

PacketiX VPN クライアント接続マネージャ

接続(C) 編集(E) 表示(V) 仮想 LAN スマートカード(S) ツール(T) ヘルプ(H)

接続設定名	状態	接続先 VPN サーバー	仮想 HUB 名	仮想 LAN カード名
新しい接続設定の作成				
raspi32	接続中	net (直...	LSCHUB03	VPN

仮想 LAN カード名

VPN Client Adapter - VPN

アドレス バージョン

4.25.0.9658

PacketiX VPN クライアント接続マネージャ VPN 接続中: 1 アカウント PacketiX VPN Client Build 9760

接続(O)  
状態の表示(S)...  
**切断(I)**  
すべての接続を切断(A)  
最近接続した VPN サーバー(Y) >  
接続設定の新規作成(N)...  
コピーの作成(C)  
接続ショートカットの作成(H)...  
接続設定のエクスポート(F)...  
接続設定のインポート(P)...  
スタートアップ接続に設定(T)  
スタートアップ接続を解除(E)  
名前の変更(M)  
削除(D)  
プロパティ(R)...

・状態が「オフライン」になることを確認します。

PacketiX VPN クライアント接続マネージャ

接続(C) 編集(E) 表示(V) 仮想 LAN スマートカード(S) ツール(T) ヘルプ(H)

接続設定名	状態	接続先 VPN サーバー	仮想 HUB 名	仮想 LAN カード名
新しい接続設定の作成				
raspi32	オフライン	net (直...	LSCHUB03	VPN

仮想 LAN カード名 VPN Client Adapter - VPN	状態 有効 (使用可能)	MAC アドレス [REDACTED]	バージョン 4.25.0.9658
---	-----------------	------------------------	----------------------

PacketiX VPN クライアント接続マネージャ      未接続      PacketiX VPN Client Build 9760

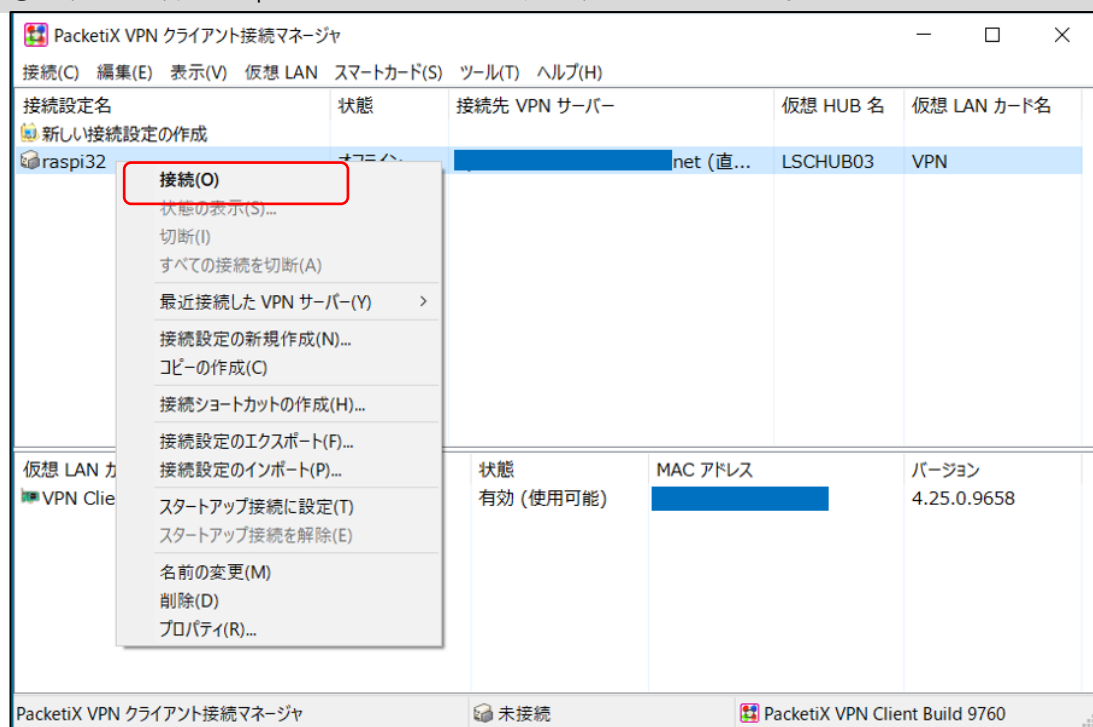
②「PacketiX VPN クライアント接続マネージャ」を終了します。

9. 以上で、クライアントPCへの設定は完了です。

10. 設定以降のVPNサーバーとの接続は次の通りです。

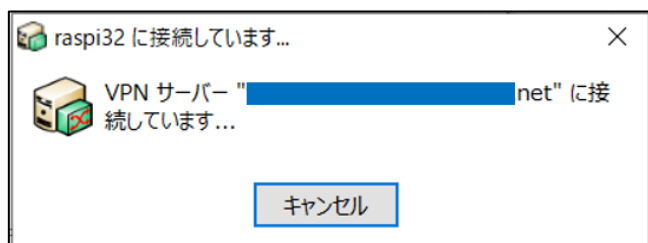
①「PacketiX VPN クライアント接続マネージャ」を起動します。

②接続設定名：raspi32を右クリックし、接続を選択します。



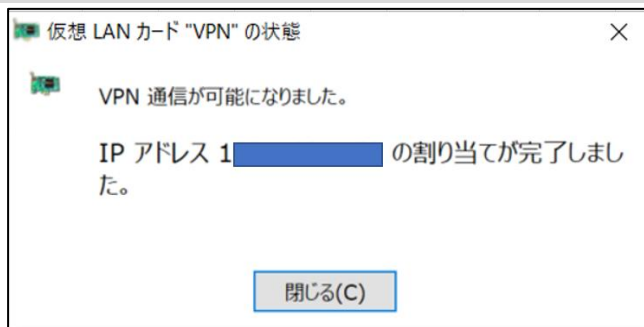
③VPNサーバーとの接続を開始します。

接続設定名	状態	接続先 VPN サーバー	仮想 HUB 名	仮想 LAN カード名
新しい接続設定の作成				
raspi32	接続処理中	net (直...	LSCHUB03	VPN

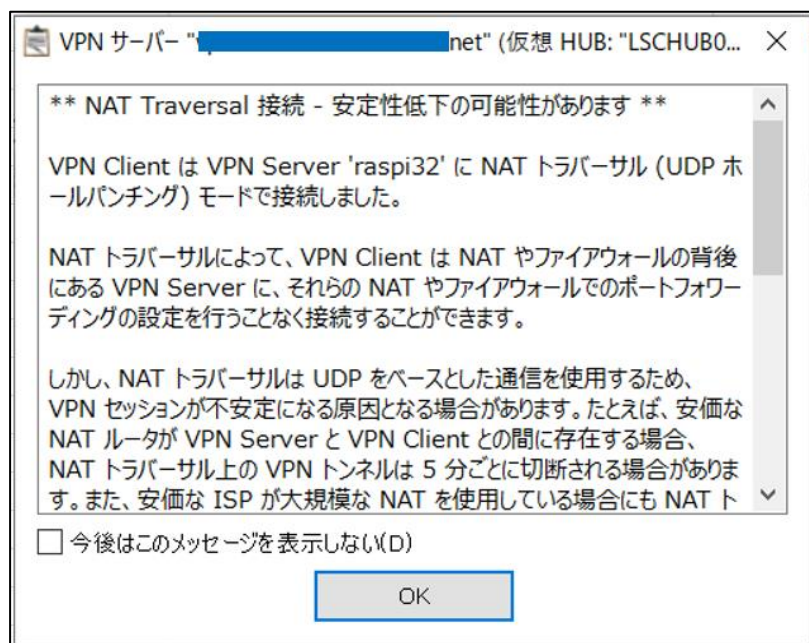


#### ④接続処理の確認

勤務先のネットワークのIPアドレスがクライアントPCの仮想LANカードに割り当てられたことを知らせるポップアップ通知が出てきたら接続完了です。



#### ⑤メッセージに対して内容を確認し「OK」をクリックします。



#### ⑥接続状態を確認します。

